

お気に入りの書を自分の家に飾ってみたい

失敗しない 書の買い方

取材・文／五十嵐裕樹
写真／榎本 壯三

初めて書に興味を持ち、作品を手に入れたいと思った時、私たちはどうすればいいのか。近頃はネットでも売られているが、やはりその道のプロに直接聞きながら選びたい。頼りになるのが、信頼のおける「書画専門店」だ。



『常行一直心』鈴木大拙

「常に一直心を行ず」とはいつどんな事でも真っ向な心で励めという仏教経典の言葉である。迷いのない軽妙な筆致は、一心に行動する心持ちを体現している。

内容／紙本
本紙寸法／80×27センチ
全体寸法／170×29センチ



武井智宏

1976年生まれ。大学で建築を学ぶも、母親が書道の先生だったこともあり書の世界に興味を持ち、卒業と同時に加島美術に入社。現在営業部主任。「書は人柄が出る」がモットー。

滲みでる書き手の教養人柄 それを感じ取ることが重要

失敗しない書の買い方について伺ってきたのは、1988年創業の書画店「加島美術」である。
「初めての書を買う。この一歩を踏み出せるかどうかで、その後の生活や人生は大きく変わると思います」
こう言うのは営業部主任の武井智

宏さん。この道17年のベテランだ。まず伺ったのは、書にはどんな種類があるのか、ということ。
「書の世界はあらゆる時代背景や流派が複雑に絡み合っている。種類と分類というものは一般的に言われるほど容易にはできないと考えています。ただ、いくつかのジャンルを挙げるとすれば、先ずは平安時代から鎌倉時代にかけて書かれたアカデミックな

和様書道の筆跡(古筆)。和歌をモチーフにした流麗な筆使いの作風が多く、季節感を尊ぶ茶の湯で四季を詠じた。一方、弘法大師など高僧が書いた精神性、気合いに重きを置いた書を「墨跡」と呼びます。こちらは書の技法を主としなため、逸脱したなかに高い風韻があることを感じることが出来ます。また、歴史好きな人気の(幕末維新・軍人の書)や福沢

諭吉、西田幾多郎に代表される(思想家・学者の書)。そして夏目漱石、川一政など著名な作家が書く(文人・画人の書)もあります。その他にも書の種類は多くありますので、お店にいらした時にご紹介させていただきますね。」
絵画は抽象派や印象派など画風でジャンル分けされている場合が多いが、書は武将や高僧、文人など、肩書き

で区分けされているのが面白い。

書かれていて、文字の内容なども、大切な要素だという。

「言葉の意味が心に響くかどうか。日々の戒めとして、見る者を高めてくれます。難しく読めない物が多いので、そんな時は遠慮なくスタッフに聞いてください。」

書風も大事です。つまりは筆のタッチです。力強いのか、あるいは流麗なのか。好みもあると思いますが、いずれにしても良い書は、筆の運びに迷いがなく、思わず引き込まれる勢いがあります。

誰もが知る有名人の直筆が 割合と安く手に入るお得感

書は一発勝負なので嘘がつけません。だからこそ書いた人の教養や人柄が滲み出てきます。優れた書の前に立つと、訴えかけてくる物があります。それを感じることが書選びの重要なポイントだと思います」
誰かが知る有名人の直筆が割合と安く手に入るお得感
インスピレーションだけでは不安というなら、ネームバリューに頼ってもいい。実は誰もが知っている有名人の直筆が、日本画と比べてかなり安く買えるのだ。例えば日本画の巨匠、

横山大観の作品に対し、西郷隆盛の書の価格はおよそ十分の一。しかし、見とおおつと唸る人が多いのはどちらだろうか。かなりコストパフォーマンスが高いといえる
飾る場所も気になる。いまどき床の間がある家は少ないからだ。
「私もマンション住まいですが、気軽に壁に飾っていますよ。洋風の部屋にも意外と合うものです。洋風の雰囲気が強すぎると思うなら、そばに陶器など和のアイテムを置くと、空間と調和しやすくなります」

さあ、これで書を買う準備は整った。後はその一歩を踏み出すだけである。その先には、今とは少し違った人生が待ち構えているだろう。なぜなら、一幅の書には書き手の人格と、それを書かせた時代背景があり、書を愛でることは、それらを全て飲み込み、自らの血や肉とすることなのだ。書は自分を成長させてくれる糧なのである。

最後に武井さんはいふ。
「どうぞお気軽にお越しください。ご購入いただいたくまでご説明いたします。一緒に書の世界への一歩を踏み出しましょう」



右は、武井さんも好きな坂本龍馬の師としても知られる勝海舟が書いた書



加島美術

1988年創業。絵画・掛軸などの日本美術を中心に、現代美術まで取り扱う。各地の有名百貨店で展示即売会を催すほか、全国の美術館、博物館へも作品を納入している。

住所：東京都中央区京橋 3-3-2
TEL：03-3276-0700
FAX：03-3276-0701
営業時間 10:00～18:00 (日・祝日休業)
http://www.kashima-arts.co.jp/